

主催者挨拶

日本証券経済研究所理事長 増井喜一郎

日本証券経済研究所の増井でございます。一言
お礼のご挨拶をさせていただきます。

本日、日本証券経済研究所と日本証券業協会の
共催で、「SDGsと資本市場に関するシンポジ
ウム」を開催しましたところ、このように多くの
方々に御参加いただき、大変ありがたく存じてい
る次第です。

また、本日、基調講演をしていただいた蟹江先
生、水口先生、分科会報告書と証券会社の取り組
み状況について御報告いただいた魚津様、荻野
様、林様、パネルディスカッションでモデレー

ターを務めていただいた河口様、さらにパネリス
トとして御参加いただいた相原様、飯塚様、池田
様、小野塚様、寺沢様には、大変お忙しい中、お
時間を割いて御登壇いただき、さまざま御知見
を御披露いただきましたことに心より感謝申し上
げます。

近頃、SDGsという言葉聞く機会が多くな
りましたが、SDGsとは何かと問われますと、
私自身、非常に漠としていて、わかりづらいテー
マであると感じてきました。しかし、今日、登壇
された皆様のお話を伺いまして、SDGsについ



増井喜一郎 氏

てかなりはつきりしたイメージを持つことができ
るようになったと感じています。それと同時に、
SDGsへの今後の取り組みに関しては、さまざま
な課題が残されているという印象も受けまし
た。

私どもの研究所では、ふだんは、かなりアカデ
ミックな研究を行っています。今日のお話を伺っ
て、SDGsは、学術的な観点からも興味深い分
野ではないかと感じました。今後、証券会社その

他資本市場関係者のSDGsに対する取り組み
が、どのように展開していくのかについても関心
を持って見ていきたいと考えています。

私どもの研究所は、昭和三十六年に設立されてか
ら六〇年近くが経ちました。古い時代は別にし
て、近年、このような形でシンポジウムを開催し
たことはありませんでした。その意味で、今回、
このように多くの皆様にお集まりいただき、かつ
充実したシンポジウムを開催することができまし
たことは、私どもにとって大変ありがたいことと
存じております。適切なテーマがあれば、今後と
もこのようなシンポジウムを開催したいと考えて
おりますので、その節は奮って御参加いただけれ
ば幸いです。

最後になりましたが、改めて、本日御登壇いた
だいた皆様、御参加いただいた皆様に感謝申し上
げます。大変ありがとうございました。(拍手)